



# 月刊喜界島ジオパーク令和7年7月号

喜界島ジオパーク推進協議会事務局員 土屋純子

## ジオパーク学習が

スタートしました!

令和7年度も、喜界町内の小・中学校を対象とした「ジオパーク学習」が始まりました。対象は小学校3年生以上と中学生です。

今年最初の授業では「ジオパークって知ってる?」という問いかけに、たくさん生徒が手を挙げてくれました。一昨年から始めた「ジオパーク!給食」などの取り組みが、少しずつ浸透してきていることを実感しています。

喜界中2年生は、まず座学として喜界島サンゴ礁科学研究所(サンゴ研)の山崎所長による授業を受け、探究学習のテーマづくりを行いました。テーマは「喜界島の疑問(なぜ?)」。島にまつわるさまざまな疑問を出し合いました。

別の日の校外学習では、家畜市場の見学や畜産農家さんでの体験を通して、喜界島の畜産について学びました。実際に子牛にミルクをあげたり、名前を

付けたりと、貴重な体験をさせてもらいました。名付けた子牛たちは今後セ



リに出され、島外で育てられます。ちなみに、4月のジオパーク!給食で出た牛丼のお肉は、喜界島生まれの黒毛和牛のお肉でした。

喜界中1年生は、サンゴ研の鈴木室長からジオパークや、サンゴにまつわる授業を受けました。そして別の日に、サンゴ研へ見学へ行き、サンゴ研の富技術員からサンゴ研の展示室にある展示物の紹介やサンゴの年輪の調べ方、水槽の生き物についての話に、生徒たちも興味津々でした。そして、伊砂の巨崖やテールバルバンタでは、サンゴ研の内山准研究員の解説を受け、地層の成り立ちなどを実際に目で見て学びました。

ご協力いただいた関係者の皆さま、ありがとうございました。ジオパーク

学習は続きます。生徒たちが「喜界島ってどんな島?」と聞かれたとき、自分の喜界島を語れるようになってほしいです。そして喜界島のことをもっと大好きになってもらいたいと思っています。



伊砂の巨崖で地層見学

今年もリピーターの方、新しく参加される方、年代などもさまざまな方にご参加いただいています。みなさん、和やかな雰囲気です。打ち解け合い、和気あいあいとしたスタートとなりました。

この講座は、座学と体験を組み合わせた全7回のプログラムです。第1回目の今回は、喜界島サンゴ礁科学研究所の鈴木室長を講師に迎え、「ジオパークとは」「喜界島がジオパークに適している理由」「島の地質地形」「なぜ島が平らなのか」「サンゴとサンゴ礁の違い」など、幅広い内容を学びました。あわせて、IUGS地質100選に選ばれた喜界島の見どころも紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていました。次回は、磯でのサンゴや生き物の観察、シュノーケリングを予定しています。

今後、島の自然や成り立ちを体験しながら学べる内容が続きます。

## 今年度の公民館講座

「喜界島の大地を知る体験教室」が

始まりました

